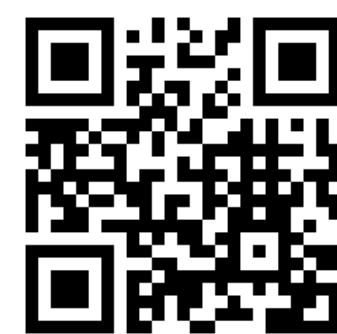


千葉大学 オープンセミナー2024

千葉大学大学院人文科学研究院文学部の様々な専門分野の先生方から、異なる視点で動物についてお話いただきます。研究を通じて見える世界はどのようなものでしょうか？ぜひ一緒に学びましょう！



千葉大学文学部

比較認知・実験心理学・動物心理学・動物行動学

10月 5日 (土)

◆ライブ配信を予定しています。アーカイブ配信は行いません。

動物たちは本能のままに生きているのだろうか？

行動科学コース 准教授 ^{うしたにともかず} 牛谷智一 先生

動物たちはヒトより下等な生き物とみなされ、単純な本能に従って生きていると信じる人も多い。この講演では、動物の帰巢に焦点を当て、時として人間より優れた彼らの空間認識について紹介する。また、どうやってそれを調べたか、その科学的方法も解説する。さらに、千葉市動物公園との共同研究を紹介しつつ、動物たちが豊かな心の世界に生きていることを示す研究について見ていく。



ハトの実験の様子

10月 26日 (土)

◆ライブ配信・アーカイブ公開を予定しています。

中国史における「虎」 歴史学コース 教授 ^{やまだ まさる} 山田賢 先生

中国の古典には「苛政は虎よりも猛し」(苛酷な政治は虎よりも恐ろしい。だから、たとえ恐ろしい虎が出るとしても、政治の及ばない山中に暮らすのである。)という故事成語があります。古代から中世においては、中国大陸の山間部に生息する虎は、人にとって大きな脅威でした。しかし16世紀ごろには、山間部開発の進展とともに虎は次第に姿を消していきます。にもかかわらず、虎の記憶は近世から近代においても残り続け、伝承の中の虎は「正義」を執行する神に近い存在になっていきました。



年画(正月を祝う民間絵画)に描かれた虎

歴史学

11月 24日 (日)

◆ライブ配信・アーカイブ公開はありません。

動物を利用する—モンゴルの「赤い食べもの」

日本・ユーラシア文化コース 准教授 ^{こだま かなこ} 児玉香菜子 先生

モンゴルの代表的な食は「白い食べもの」の乳製品と「赤い食べもの」の肉です。モンゴル牧畜民は自分たちが飼っている家畜をどのように食するのか。今回の講演では、主にヒツジ肉の利用からモンゴルの自然と文化を紹介します。



モンゴルの儀礼料理 ヒツジの丸煮「シュース」

文化人類学・内モンゴル研究

時間: 14:00~14:30

※受付は 13:50 から仮設案内所付近です

場所: 動物科学館1階 レクチャールーム(席数150)

◆ 空調工事中のため、体温調節ができる服装をご準備ください。

予約不要です。中学生以上が対象ですが、どなたでもご参加になれます。

詳細はHPにて！

